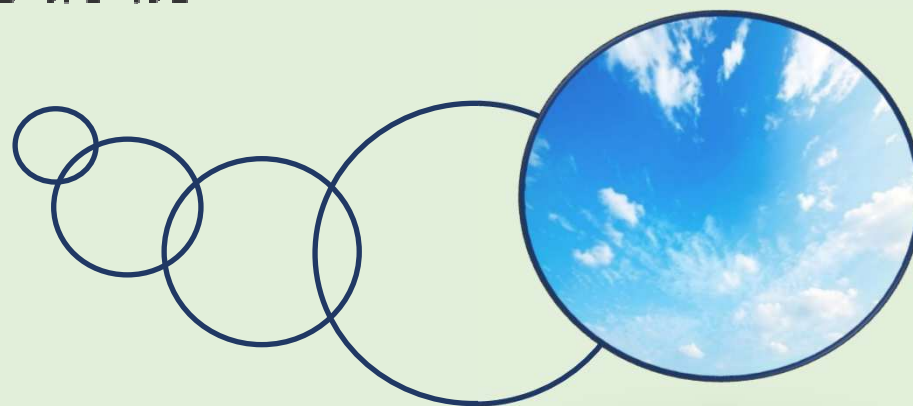


健康経営白書2024

一般社団法人衛生文化協会 城西病院



城西病院



健康経営宣言

職員が心身ともに健康であることは、組織運営上の基本です。

健康を基盤に安心・安全な職場環境が形成され、各々が能力を発揮する

ことで患者・顧客に対し価値あるサービスが提供できます。

我々は“地域の皆様に「よかった」と言ってもらえるような医療・介護

サービスの提供をしていく”、という法人の理念を実践していくために

も、職員の健康保持・増進を積極的に取り組んでいきます。



一般社団法人衛生文化協会 城西病院

理事長

玉城 成雄

理事長メッセージ

『健康経営の位置づけ』

当院は2021年に健康経営宣言し、その一環で様々な健康推進に関する施策を実施しております。職員の皆様が健やかに働き続けることこそ、患者・受診者に対しより高いレベルで価値ある医療サービスを提供できると確信しています。健康推進活動を通して、健康上の課題を抽出・解決し続けることで、職場環境改善・向上を図っていく所存です。

重点施策

健康診断

- 健康診断受診の徹底と、女性のがん検診受診の啓発活動、扶養家族の健康診断受診勧奨を実施する。
- 特定保健指導の実施率70%を目標とする。

健康対策

- 健康診断の結果に基づき、産業医による面談指導、保健師による健康相談を実施する。
- ストレスチェック(過重労働対策を含む)を行い必要に応じて産業医面談を実施する。
- 治療、改善が必要な職員に対して専門医を紹介する。
- 基礎疾患などの治療費補助(院内受診)をする。

働き方

法令遵守

- 業務効率化を促進しサービス残業を禁止する。
- 法律で定められた時間を超える残業0を徹底する。
- 管理職も含め、年間有給休暇取得5日以上を徹底する。
- 働き方に応じた時差出勤を実施する。

心のケア

- 4つのケアへの従業員教育の実施と、健康相談窓口の設置でメンタル不調の予防・発見・早期治療に繋げる。

* 4つのケアとは・厚生労働省が定める『事業場における労働者の心の健康づくりのための指針について』

- ①セルフケア ②ラインケア ③事業場内産業保健スタッフによるケア
- ④事業場外資源によるケア

主な取組

肩こり・腰痛予防

- 理学療法士による「肩こり・腰痛予防体操」を月に2回実施正しいストレッチ方法を習得し、日々の習慣化を促す。

食生活改善

- 産業医、保健師、管理栄養士による食生活改善教室を年に2回実施。つい不規則になりがちな食生活を見直す。

全員参加の取組

- リーダー役の『健康経営推進者』を中心に、職員全員が参加し、グループに分かれてテーマや目標を設定する。

がん検診

- 職員の受診負担軽減のために、各種がん健診をWEBで簡単に予約可能とし、1年を通して自院で受診可能とする。

健康経営体制



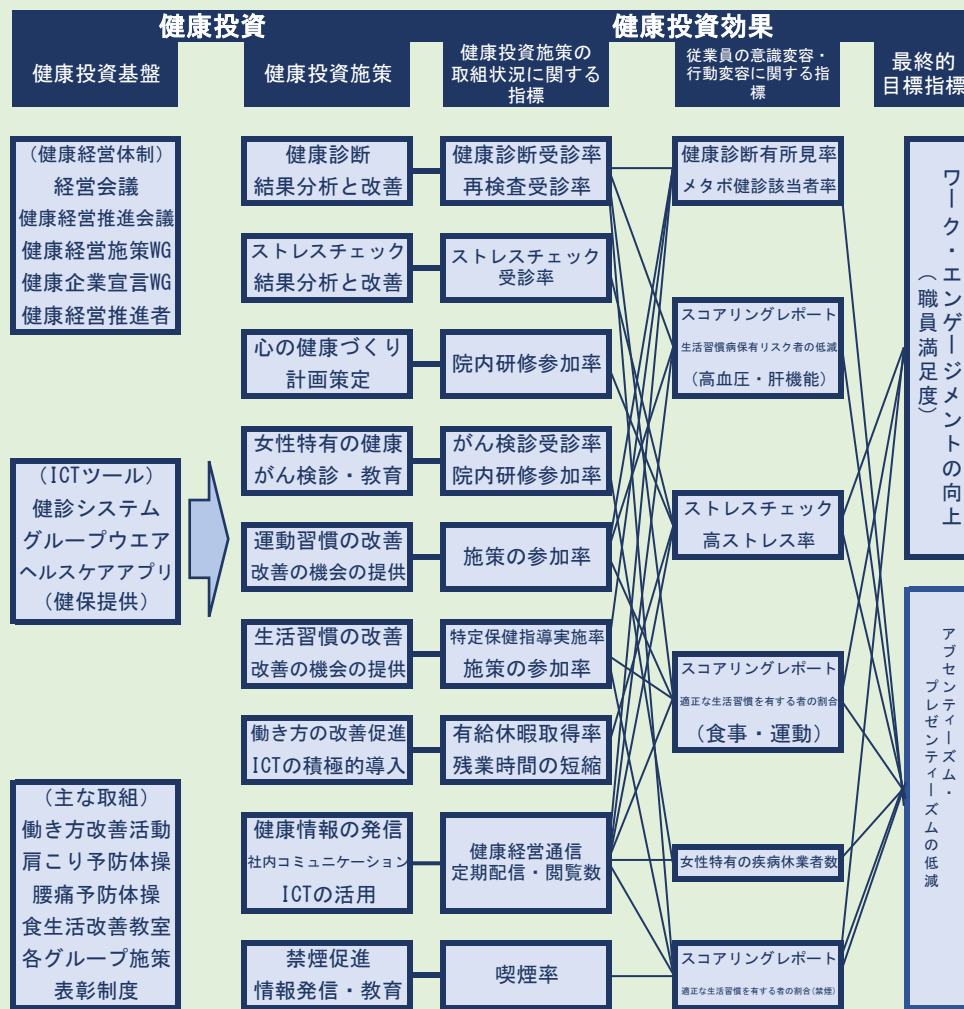
健康経営推進会議メンバー

議長 玉城 成雄 理事長
(医師・健康経営アドバイザー)
副議長 小石川 知史 予防医学部長
(衛生管理者・健康経営アドバイザー・健康マスターEXP)

- 白崎 由佳子 産業医
(医師・健康経営アドバイザー)
- 加々爪 恵美子 保健指導課係長
(保健師・健康経営アドバイザー)
- 小金澤 淳 巡回健診課課長
(衛生管理者・健康経営アドバイザー)
- 田中 綾 施設健診課係長・メンタルヘルス推進担当者
(衛生管理者・健康経営アドバイザー・健康マスターEXP)
- 佐藤 薫 健診データ管理課リーダー
(衛生管理者・健康経営アドバイザー・健康マスターEXP)
- 鈴木 梨華子 巡回健診課
- 板橋 京子 デジタル担当

* 労働安全衛生委員会並びに産業医、健康保険組合と連携

健康経営戦略マップ



健康経営で解決したい課題

『職員が心身ともに健康で働き、
患者・顧客に対し価値あるサービスを提供する』